

# 観光情報基盤検討部会

## —活動報告と今後の進め方—

2011年5月27日

部会長 美濃 導彦

# 設立趣旨

- 京都の強みはやはり 観光産業。
- 観光にICTを使うプロジェクトは数多く実施されてきたものの、実用化には至らず。
- 観光での様々な実証実験も成果は上がっているが、蓄積されていない。
- 何が問題なのかを議論、観光にかかわる様々な人の意見を聞く場、講演会の場として観光情報基盤部会を設立。

# 昨年度の活動実績

- **平成22年度第1回講演会** 新成長戦略「観光立国」を見据えた国際観光都市・京都の現状と展望  
平成22年9月30日(木曜) 午後3時～5時  
＜講師＞ 小林 英俊 財団法人日本交通公社常務理事  
意見交換 ＜テーマ＞ 国際観光都市・京都にふさわしいIT基盤とは
  - 小林 英俊 財団法人日本交通公社常務理事
  - 美濃 導彦 ITコンソーシアム京都会長
  - 高田 公理 佛教大学社会学部教授
- **平成22年度第2回講演会** 交通関係者の立場から見た京都(関西)観光の現状と展望  
平成22年11月5日(金曜) 午後3時～5時  
＜講師1＞ 樋口 賢 阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 運輸部(営業担当) 調査役  
＜講師2＞ 星乃 勝 株式会社スルッとKANSAI 営業促進ビジネスサークル 部長
- **平成22年度第3回講演会** パワーブロガーを活用した観光戦略  
平成23年1月27日(木曜) 午後3時～5時  
＜講師＞ 坂上 英彦 京都嵯峨芸術大学 芸術学部観光デザイン学科 教授
- **平成22年度第4回講演会** ホテルから見た京都観光  
平成23年3月17日(木曜) 午後3時～5時  
＜講師＞ 横山 健一郎 ハイアットリージェンシー 京都 総支配人



# 「観光とコンピューティング」 国際シンポジウム開催

## 開催概要

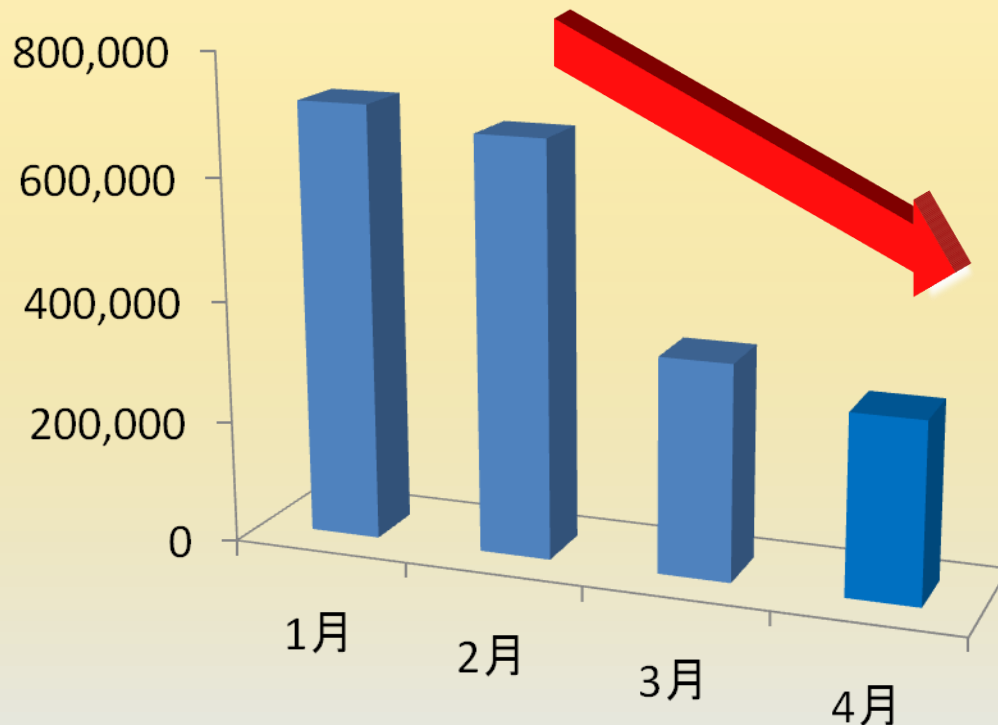
【テーマ】	観光の今、そして伝統から未来へ
【開催日】	平成23年6月22日(水) 10:30~18:00(予定)
【開催会場】	京都リサーチパーク サイエンスホール(1号館4階)
【プログラム】	<p>◇基調講演 『経済文化と観光 ~ 情報技術の役割と可能性 ~』 ＜講師＞ スタンフォード大学 名誉シニアフェロー、一橋大学名誉教授 今井 賢一氏</p> <p>◇パネル1 『現在の観光トレンド』 ＜オーガナイザー＞ 京都嵯峨芸術大学 芸術学部観光デザイン学科 教授 坂上 英彦氏</p> <p>◇パネル2 『伝統文化を次の世代の観光へ』 ＜オーガナイザー＞ 武庫川女子大学 生活環境学部 情報メディア学科 教授 藤本 憲一氏</p>
【主催】	ITコンソーシアム京都、(財)京都高度技術研究所、京都リサーチパーク(株)
【後援】	京都府、京都市、京都商工会議所、京都大学大学院情報学研究科、学術情報メディアセンター

# 活動を通じて見えてきたこと

- 観光をめぐる環境が激変
  - 9割が個人旅行、リピーターも増加
    - ： 興味対象が細分化、翻訳も必要
  - 観光客の多国籍化
    - ： 外国人の心に響く観光資源の開発やメディア戦略、ブログ活用
  - 体験型旅行への嗜好の変化
    - ： 地域の商店街との連携、エコツーリズム
  - ケータイ、スマホ、PCでの情報収集が主流に
    - ： サイトだけでは通用しない
    - ソーシャルへの目配り、コンテンツのフリーミアム化
  - 災害時の情報提供、旅行者支援
    - ： ディズニーランドの震災対応はブランドを強化した

# 東日本大震災の影響

- 震災と原発事故が観光産業を直撃
  - 11年3月の訪日外国人は50%減、4月は60%減（前年比）



日本への信頼感の回復なしに、  
観光客は戻ってこないとの覚悟  
が必要？

# 観光産業とICT

- 新しいメディアの活用(デジタル技術は個人適応、テーラメイド)
  - パーソナルで多種多様な時代、観光スタイルも個人の趣味嗜好で様々
  - 固定概念にとらわれずニーズある情報を提供する必要がある
- シームレスな情報の時代(誰でも発信できる、集合知)
  - 旅行には、網羅性・正確性・詳細性・即時性を備えた魅力あるコンテンツが必須
  - 一人の情報量には限界。多くの人々が参加して情報を受発信することで魅力あるコンテンツが誕生
  - 文字・動画、PC・テレビ、情報はシームレスな時代へ
- モバイルとソーシャル(位置情報をキーとした検索、ソーシャルネット)
  - 情報はソーシャルメディアにそして利用空間はモバイルへ
  - 選択の判断材料に個人の情報を利用する人々が増加。
  - スマートフォンの出現でモバイル環境が躍進し、ますます個人の情報発信素材が増大。
- ビジネスモデル(広く薄く課金、集金コストの問題)
  - 強力なレコメンデーション機能
  - 多くの個人情報とは貴重なデータとして活用できる
  - 双方の受益負担と利益還元が長続きするビジネス

# 活動計画

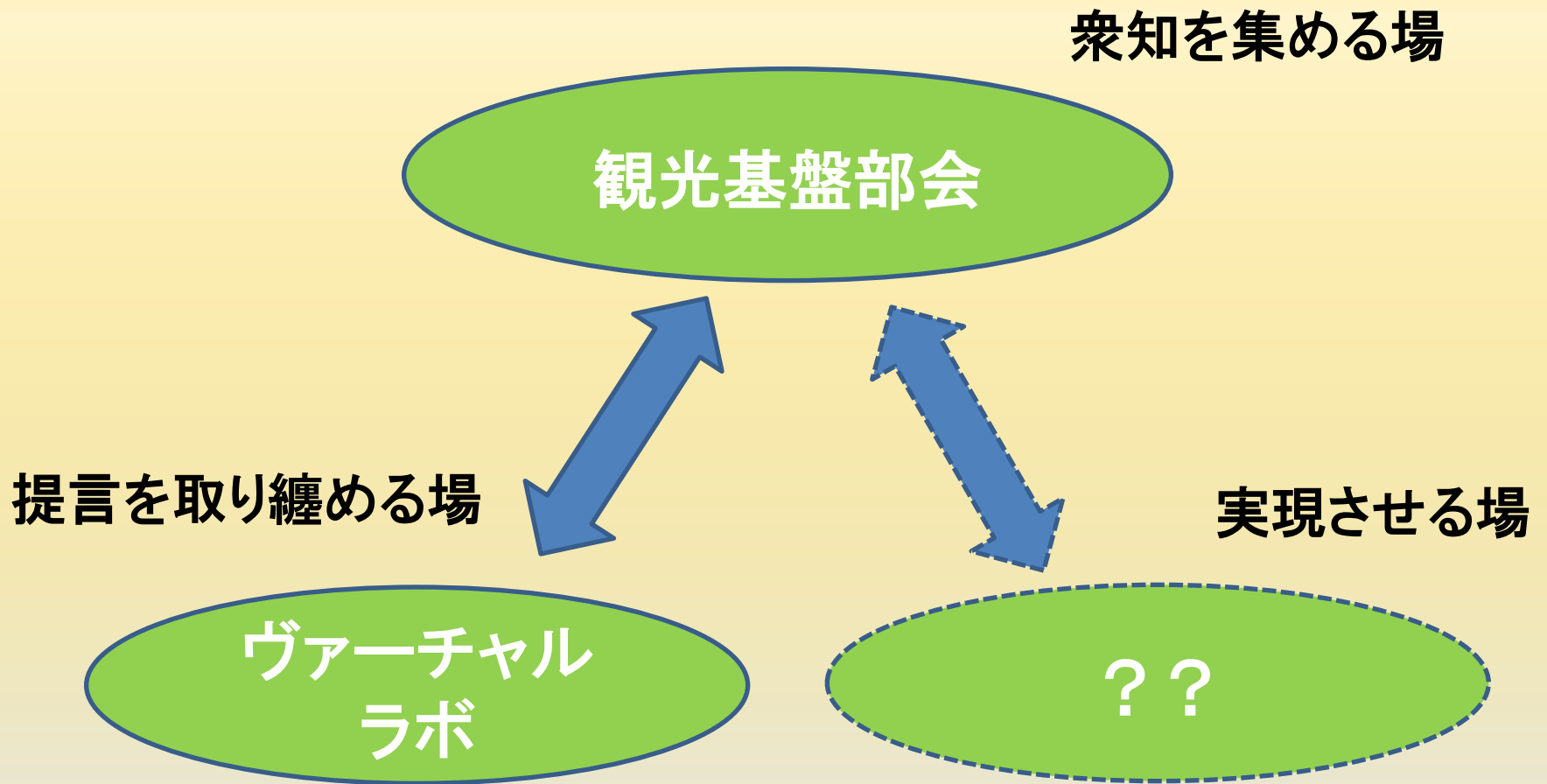
- **講演会の企画**
  - 年4回程度
  - 観光に関する業界
    - 雑誌, 旅行代理店
    - 社寺
    - 土産店
    - 交通(タクシー, 公共交通)
    - 通信業界
    - などなど



# 今後の方針

- 今後10年の京都観光のあるべき姿を提言
  - 技術・プロジェクトの両面から検討
- 技術として
  - 観光情報基盤の参照モデルの提言
- プロジェクトとして
  - 賛同企業・団体の募集
  - プロジェクト推進に向けた活動

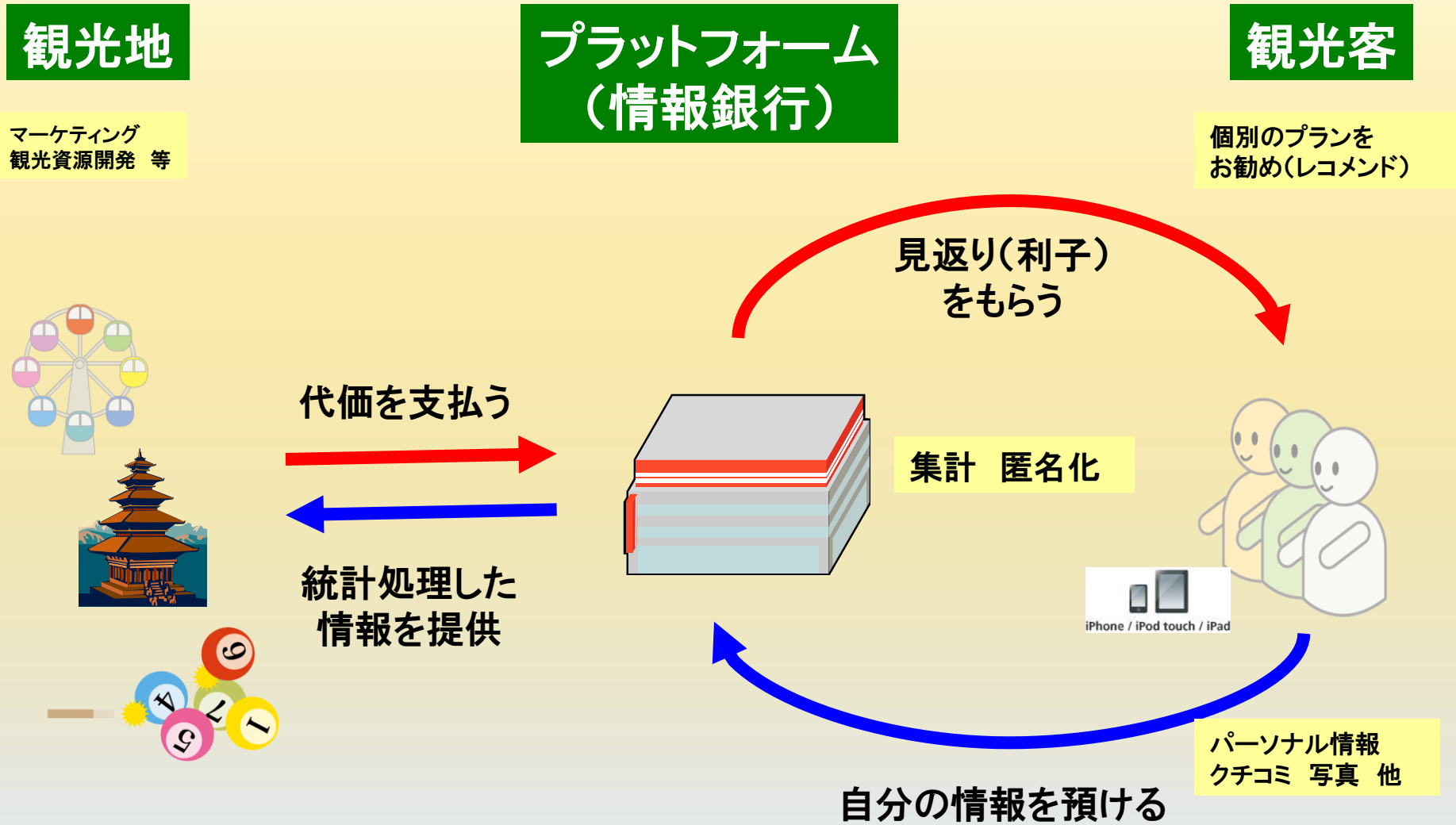
# 検討体制



- **ご清聴ありがとうございました**

# 行動情報を利用して、“おもてなしの心”を届ける

多数の個人情報の集計化で、持続可能な収入を情報提供者・利用者双方から得る



# (参考) 運営体制

